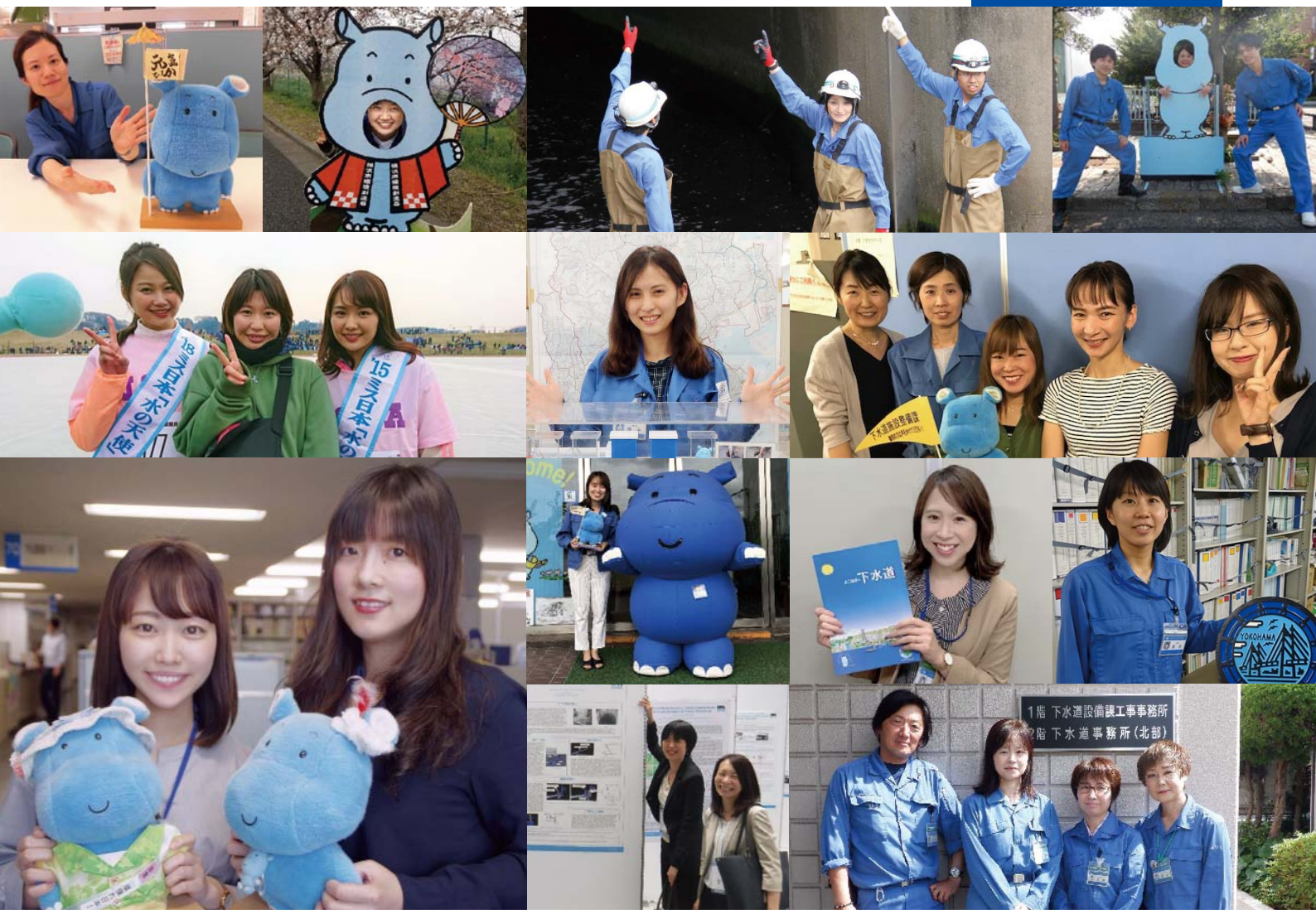
Gesuido Joshi Journal

GJ Journal

下水道分野で働く女性のマガジン

2019 特集号 Special

Vol.21



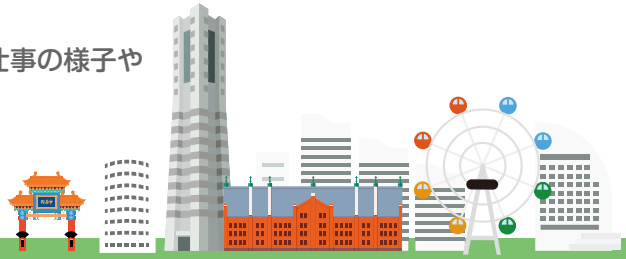
下水道展特集

日本下水道協会 × GJリンクコラボ企画!

下水道展へようこそ!

Welcome to the Sewage Works Exhibition!

今年の下水道展’19は横浜市で開催!
そこで今年のGJ Journal下水道展特集号では
横浜市GJに全面的に協力をいただき、日頃のお仕事の様子や
オススメスポットを紹介いただきました。
横浜市の魅力、ギッシリ詰まった一冊です!



マンホールカード 第10弾！

デザイン性あふれるマンホール蓋を
コレクションできる『マンホールカード』に
この夏、新しい仲間たちが加わります。

これまで
第1弾～第9弾
478種 407自治体

第10弾 NEW
2019年8月7日導入
61種 61自治体

シリーズ累計
539種 455自治体

日本のマンホール蓋は世界に誇れる文化物！奥深い『楽しさ♪』を1枚に詰め込みました！

日本のマンホール蓋は全国各地デザインが違うご当地モノなのです。その土地に縁のある各所、名物品、スポーツ、キャラクター等が描かれています。まさに日本人の繊細さや丁寧さが生み出した路上の文化物！そのユニークさや美しさに惹かれて訪ね歩くファンが急増する中、ついに世界に誇れる『マンホールカード』がここに誕生！！

集めて『楽しい♪』コレクションカード!!

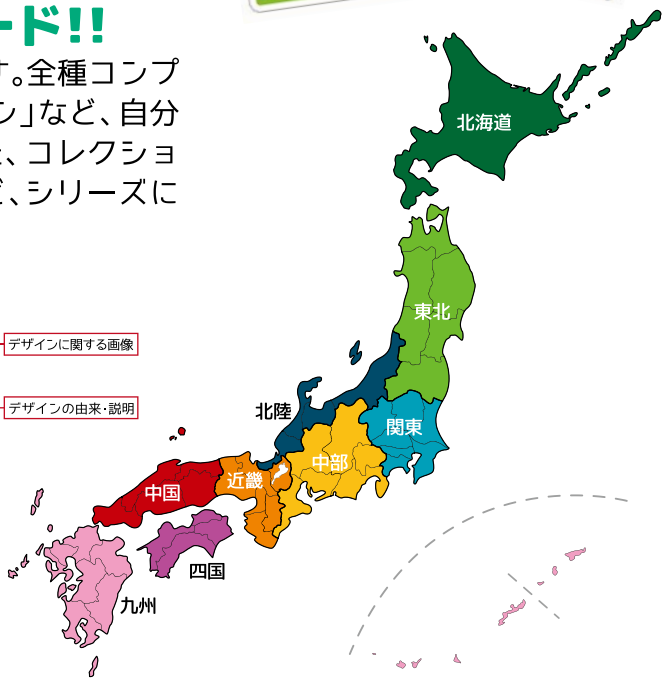
「マンホールカード」は集める楽しさを大切にしています。全種コンプリートだけでなく、「地域」「都道府県」「市町村」「デザイン」など、自分の好きな集め方を楽しめるように設計しています。また、コレクションする上で欠かせない「材質」「寸法」「彩色」「文章」など、シリーズにおける統一感も大切にしています。

デザイン管理ナンバー
所在地
マンホール蓋のデザイン図
マンホール蓋の写真
設置開始年
ピクトグラム（デザインカテゴリー）
位置座標
配布場所

デザインに関する画像
デザインの由来・説明

表面はマンホール蓋の写真と設置されている座標軸、ピクトグラムが入ります。

裏面にはデザインの由来やモチーフ、下水道についての情報等を記載します。



カードベースの色を日本を北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州の9つの地域で色分けしています。

「マンホールカード」は無料でGETできます！

「マンホールカード」は、下水道関連施設や観光案内所等で無料配布されています。各カードの詳しい配布場所は、GKPのホームページにてご確認ください。

GKP 下水道広報プラットホーム
配布場所は マンホールカード で検索

©GKP

CONTENTS

下水道展’19横浜の概要 …… 04

横浜GJがオススメする下水道展8つの見どころ食べどころ … 05

下水道展’19横浜会場マップ …… 06

データで見る横浜市のGJ …… 08

ある日の! 横浜GJの1日

環境創造局 政策調整部 技術監理課 藤本由美 …… 09

環境創造局 下水道計画調整部 下水道事業マネジメント課 小橋江里 …… 10

環境創造局 下水道管路部 下水道事務所 峰尾真理子 …… 11

横浜市環境創造局GJ座談会 …… 12

私の下水道

横浜市環境創造局 下水道管路部 管路整備課 松永亜紀 …… 15

横浜市環境創造局 下水道施設部 南部水再生センター 小泉芽衣 …… 15

横浜市環境創造局 下水道施設部 下水道施設管理課 斉藤奈津実 …… 16

横浜市環境創造局 下水道施設部 港北水再生センター 岡村なつみ …… 16

横浜市環境創造局 環境保全部 水・土壌環境課 佐藤有理子 …… 17

横浜市環境創造局 下水道施設部 下水道施設整備課 須藤美月 …… 17

横浜市環境創造局 総務部経理経営課 真中美理 …… 18

横浜市環境創造局 下水道施設部 下水道水質課 平等愛子 …… 18

横浜市環境創造局 下水道管路部 管路保全課 横手加奈 …… 19

横浜市環境創造局 下水道計画調整部 下水道事業マネジメント課 森田純子 … 19

下水道展'19 横浜

ようこそ横浜へ!～下水道展' 19横浜～

今年で32回目を迎える、国内最大級の下水道イベント「下水道展」。今年の舞台はここ横浜。11年ぶりの開催となる横浜市は古くから国際交流の要所として挙げられ、今もあちらこちらで異国情緒を感じることができます。桜木町駅から数々のランドマークを抜けた先、パシフィコ横浜にて今年も暑い4日間が始まります。

下水道展とは?

近年の気候変動によって激甚化する降雨に対応したり、耐用年数が経過したことにより老朽化対策が行われるなど、下水道の技術は時代に合わせて進歩しています。下水道展は、そういった下水道に関する幅広い分野における最新技術・機器を一同に会した展示会となっています。また下水道事業者のみならず、一般の方にも下水道について理解と関心を持って頂くことを目的に、「下水道、くらしを支え、未来を拓く」をテーマに毎年開催されています。

みどころって?

この展示会では、各出展者様イチオシの機械などが展示されます。なかでも実際に地中深くで活躍する機械たちや、そのデモンストレーションなども会場内で頻繁に行われています。実際に見て、触って、体験できるブースも多くありますので、是非下水道について実感してみてはいかがでしょうか?
またイベントと併せて併催行事も多数取りそろえています。以下にほんの一部を紹介していますが、これ以外にもまだまだ沢山。是非リーフレットなどでチェックしてみてください!

下水道展' 19横浜Pick up!イベント

◎水ビジネス業界 インターンシップキャリアセミナー

水ビジネスに関連した官公庁や民間企業26社が集結する国内最大級の合同企業説明会です。

各企業の人事・採用担当者も多く集まる、このイベント。過去に実際に内定につながった学生さんもおり、各企業も本気で臨んでいます。

特に大きなメリットは「下水道展の併催行事」であること。採用担当者に話を聞いた後、企業ブースにて更に詳しく聞いて企業研究…なんてことが1日でまるっと出来てしまいます。

また女性には嬉しい「GJ相談コーナー」も併設。いろいろな業種で働く先輩GJの話を、じっくり座って伺うことができます。

この夏、一足先に就職活動を初めてみませんか?

■日時:8月8日(木)　13:00-16:00
■場所:パシフィコ横浜　2F アネックスホール

【参加者特典】
QUOカード最大4,000円分プレゼント!
先着100名様にもれなく1000円分+3社以上のブースを回り、別フロアで開催する『下水道展'19 横浜』に来場した方限定で QUOカード3,000円分をプレゼントします!

◎自然・災害・エネルギー地球を救え下水道!? スイスイ下水道研究所

下水道の仕組みについて、地方自治体のブースなどを通して学ぶ事の出来る展示が行われています。展示内容はお子様はもちろん、大人の方も楽しみながら学べる内容となっており、また展示会場内では連日さまざまなイベントが企画されています。各ブースでは選りすぐりのノベルティも用意していますので、ぜひ本展会場と併せて訪れてみることをオススメします。

■日時:下水道展に準ずる
■場所:パシフィコ横浜　2F アネックスホール

◎下水道 × 謎解き

今後の下水道を担う若者を対象として活動する「下水道の未来を考える会」=未来会が主催するイベントです。実際に謎解きにチャレンジしながら会場内を歩き回って、下水道のおもしろさを体験していただけるイベントとなっています。

■日時:8月9日(金)　10:00-16:00
■スタート場所:パシフィコ横浜　会議センター304号室

会場MAPは
6、7ページへGO!

横浜の洋館いろいろ 私のお気に入り♡

観光の定番である山手西洋館。外から眺めるだけでなく、中にも入れます。
喫茶コーナーのあるところも。個性あふれる西洋館の中から、お気に入りの洋館を見つけてみてはいかがでしょうか。

横浜といえば・・・

横浜は中華街が有名ですが、それ以外にもおいしい中華料理のお店があります。「李園」は、MM線元町中華街駅から港の見える丘公園を通って徒歩20分。京浜東北線山手駅からは徒歩13分ほど。駅から少し距離がありますが地元民から愛されるおいしい中華が食べられます。

パンケーキ食べたい♪ パンケーキ食べたい♪

下水道展の帰りにぜひとも寄ってほしいパンケーキ専門店「Butter」。横浜駅のベイクォーターの中にあります。
GJにはもちろん、甘いもの好きなおじさんにだって食べてほしいパンケーキです。駅近なので、横浜駅を通る時には、ぜひともお味見を!!

駅直結!アメリカ山公園

「元町中華街」駅直結の公園です!
季節の植物やお花を楽しめて、みなとみらいエリアの景色も望めます。
下水道展のあとに、緑と横浜の景色に囲まれてのんびりするのはいかがですか。
元町・中華街駅から公園を抜けて山手エリアに抜けることもできるので、そのまま横浜観光に繰り出せます…!

横浜GJがオススメする 横浜 8つの見どころ 食べどころ

今年の下水道展でも、さまざまな企画が予定されています。横浜GJが下水道展の見どころをピックアップ。外しちゃいけない見どころを紹介します!!

みなと横浜! 赤レンガ倉庫周辺

パシフィコ横浜から徒歩数分のところに、明治末期から大正初期に国の模範倉庫として建設されたレンガ造りの歴史的建造物の赤レンガ倉庫、大型客船も寄港する横浜大さん橋など、横浜の見どころが点在しています。横浜の歴史、文化を満喫してみてはいかがですか。

横浜に来たら 「横浜ベイクォーター」

私のお薦めです。横浜駅きた東口直結で、その日の気分で選べるおいしいレストランが多くあり、おしゃれなお店もあってショッピングも楽しめます。
特に各レストランからの夜景はとても素敵です!
また、この時期はビアガーデンが開催されていますので、おいしい食事とビール、横浜の夜景を堪能していただければと思います。

「里山ガーデンフェスタ」 秋にも来てほしい横浜

9月14日(土)から10月14日(月・祝)までよこはま動物園ズーラシア隣接地で開催されます。秋には三連休が何度かあるので、横浜市内最大級の花で彩られた大花壇で恋人と!家族と!ひとりで!楽しいひと時を過ごしてください!
(開催時間9:30〜16:00)

ガーデンネックレス横浜
Garden Necklace YOKOHAMA 2019

©ITOON/GN

「山下公園」 秋のバラも見にきてね☆

横浜のおすすめ観光スポットのひとつ。海を眺めたり、青い芝生、記念碑や歌碑など見どころがたくさん♡
おすすめは10月中旬〜11月上旬に見頃を迎えるバラ園です。秋のバラは花数は少ないですが、花の色が濃く、形が美しく、香りが良いのが特徴です。
さわやかな海風を感じながら、秋のバラを楽しんでみませんか。

下水道展'19横浜会場マップ

アネックスホール

レセプション・セミナー会場では、初日を除き毎日セミナーやフォーラムが開催されます。なかでも目玉イベントのひとつ「水ビジネス業界 インターンシップ&キャリアセミナー」は水ビジネス業界が集結する国内最大級の合同企業説明会となっています。

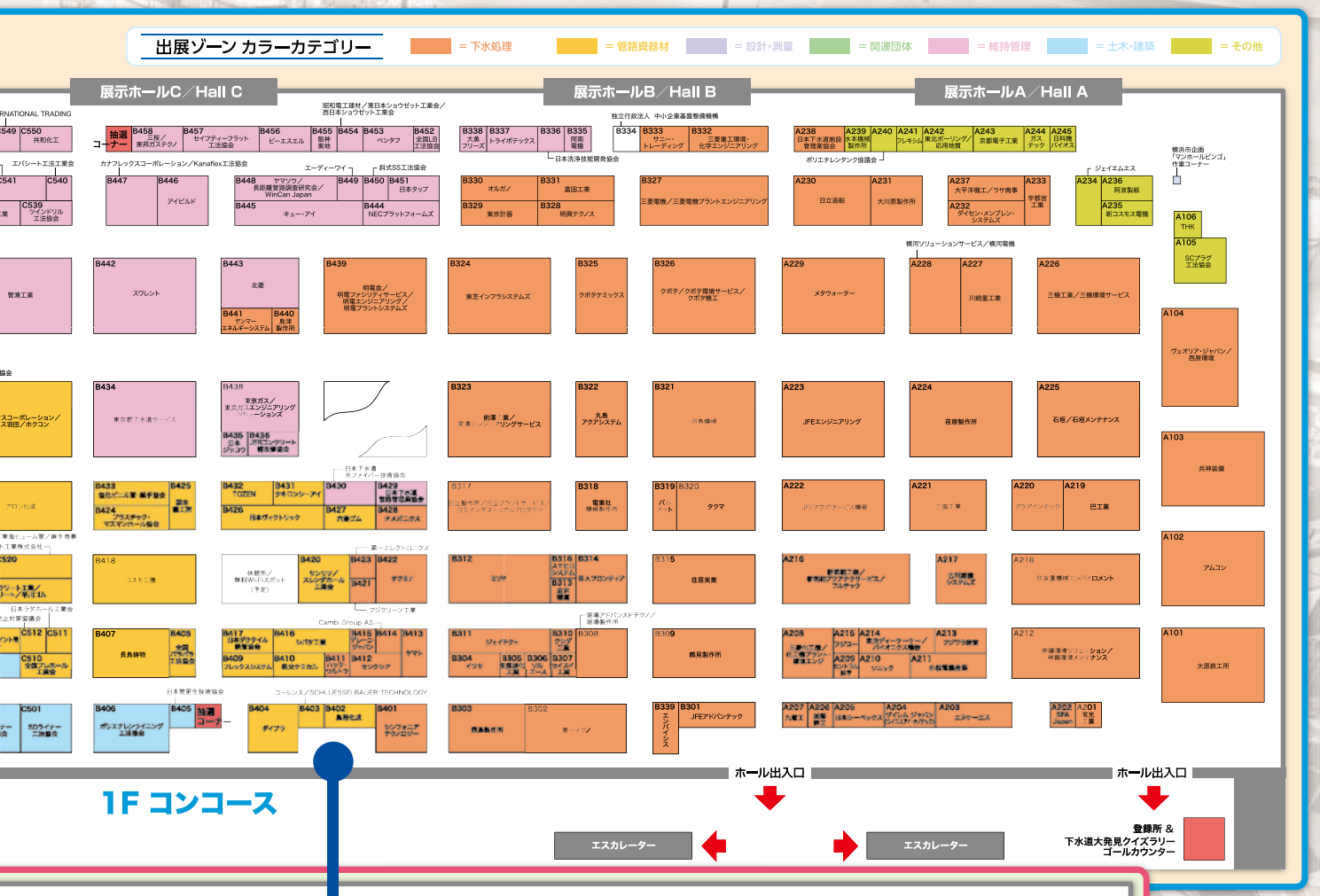
パブリックゾーン「スイスイ下水道研究所」では、各地方自治体による展示やステージイベント、顕微鏡を使った微生物の観察など、毎日たくさんの体験型イベントをご用意してお待ちしています。またこのパブリックゾーンでは色々なコラボイベントも開催予定。「下水道ってなんだろう?」「簡単に分かりやすく下水道について学びたい!」と思ったそこのアナタ!ぜひ一緒に楽しみながら学んでみませんか?

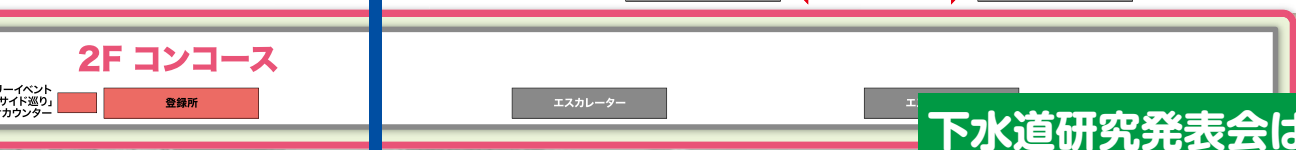
水ビジネス業界 インターンシップ&キャリアセミナー

【インターンシップキャリアセミナー】
日時：8月8日(木)13:00-16:00
場所：アネックスホール(F205、206)にて

自然・災害・エネルギー 地球を救え下水道!? スイスイ下水道研究所

【パブリックゾーン】
日時：下水道展に準ずる
場所：アネックスホールにて





下水道研究発表会は「会議棟」へ

下水道展 メイン展示会場

各出展団体によるバラエティーに富んだ展示内容となっており、「設計・測量ゾーン」「維持管理ゾーン」「下水処理ゾーン」「土木・建設ゾーン」「管路資器材ゾーン」と分かれており、出展者数は346社にのぼり、圧巻の機材やデモンストレーションが各所で行われています。また下水道展に関連した併催行事、併催企画も多数行われています。詳しくはQRコードを読み取っていただくか「下水道展’19横浜 併催企画」で検索ください!

下水道展’19横浜 併催企画　検 索

下水処理ゾーン
雨水対策機器、揚水および揚泥機器など

管路資器材ゾーン
管路資器材および機械

設計・測量ゾーン
測量および設計機器

関連団体ゾーン
下水道に関する国や自治体、協会などの団体、組織

維持管理ゾーン
維持管理機器および特殊車両

土木・建築ゾーン
管きょ等更生工法
建設資材および機械

データで見る横浜市のGJ（げすいどうじょし）

横浜市　環境創造局
政策調整部技術監理課長
長内（おさない）　紀子（のりこ）

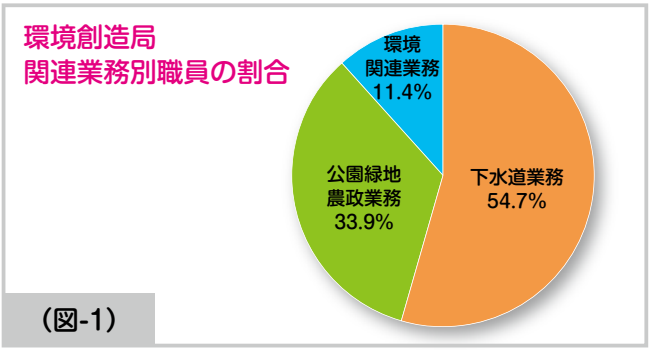
横浜市職員に占める女性の割合

横浜市役所全体の女性の割合として、公表されたデータによりますと平成30年4月現在では、36.2%となっております。

横浜市役所では、「横浜市職員の女性ポテンシャル発揮・ワークライフバランス推進プログラム（通称：Wプログラム）」に基づき、男性も女性も性別にかかわりなく、また、子育てや介護等の様々なライフステージに柔軟に対応しながら、全ての職員が意欲と能力を最大限に発揮できる組織づくりを進めています。そのWプログラムでは、**課長級以上に占める女性の割合**を30%（平成32年4月1日）と目標を掲げておりますが、平成30年4月現在では、**16.3%**にとどまっている状況です。

採用時の男女割合をみると、平成27年度以降の新採用職員に占める女性の割合が40%を超え、特に29年度からは、44%を超えており、近年女性職員が急激に増えております。

この状況の中で、本市の下水道業務を携わる環境創造局の職員について、筆者の独自調査ではございますが、ご報告させていただきます。（公表値ではなく、平成31年4月現在です。）

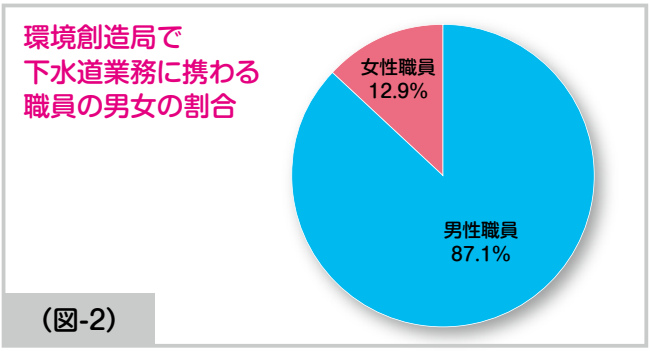


（図-1）

まずは、環境創造局の職員がどのような業種に携わっているのか、業務別に分けたものが上記のグラフ（図-1）です。

下水道業務に携わっている職員が半分を超えており、その人数は、概ね710名となっています。

環境創造局の職員は全体的に技術職員が多く、下水道業務に携わっている職員には、事務職員もおりますが、技術職員の職種は、土木職、機械職、電気職、環境職です。技術職員は、まだまだ男性が多いため、横浜市全体より女性の割合が少なく、図-2のとおり12.9%と13%を割っております。



（図-2）

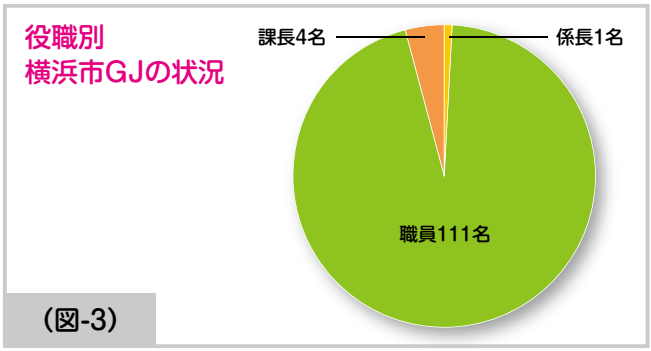
昔と比べたり、また環境創造局では公園緑地農政業務や環境関連業務に携わる女性が多いため、女性が少ないとあまり感じておりませんでしたが、GJは割合にすると少ない状況となっています。

横浜市のGJ（環境創造局・土木事務所）

横浜市では、環境創造局以外にも土木事務所の職員が現場で下水道業務に携わっております。18区の土木事務所に職員がおりますがその中でGJはまだまだ少ない状況です。

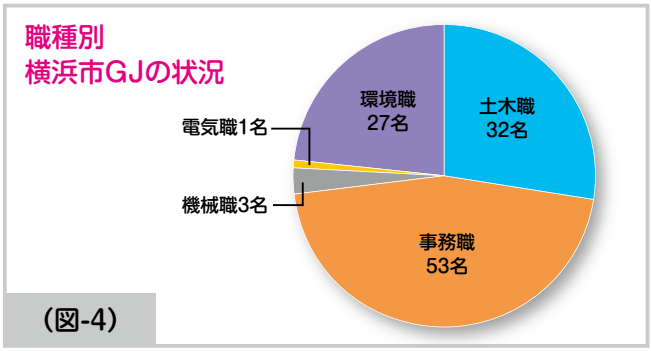
GJの人数は、環境創造局では92名、土木事務所では24名、合計116名となっております。

横浜市のGJについて、役職別に集計をしますと以下のグラフ（図-3）になります。



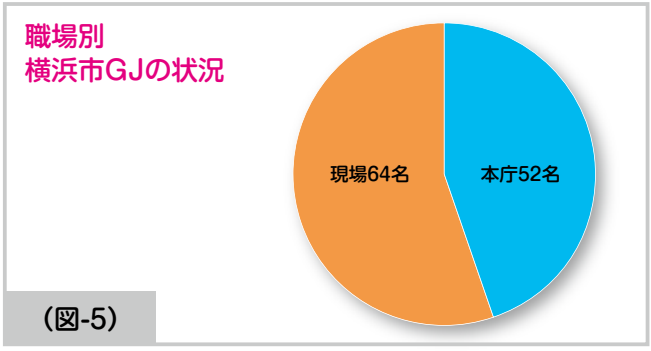
（図-3）

また、職種についてもどのような状況になっているかわかるグラフ（図-4）が以下のとおりです。



（図-4）

GJが実際どこで働いているのかということも調べてみました。現場で働く職員は、各水再生センターや下水道事務所、土木事務所等がありますが、大きく分けて、本庁か現場か調べてみました。その結果が以下のグラフ（図-5）です。

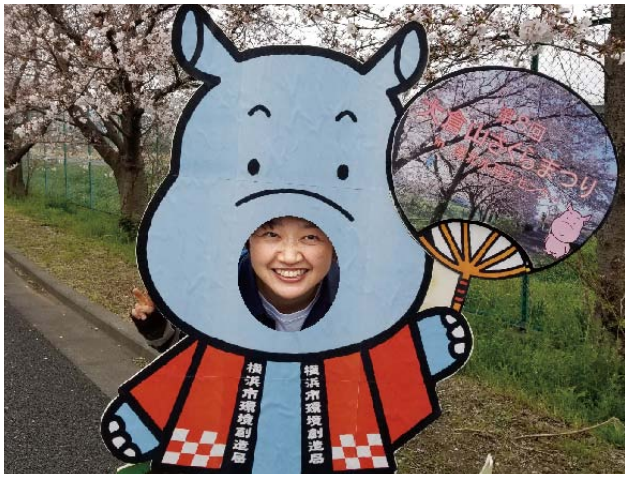


（図-5）

横浜市のGJについては、若い女性が大半を占めているため、今後、GJの管理職がますます増えると予想されます。

また、横浜市のGJが元気に活躍することが横浜市内だけでなく、日本の下水道業界全体の活気につながるように貢献していきたいと考えています。

ある日の！ 横浜GJの1日



横浜市　環境創造局
政策調整部技術監理課

【職種】機械　**藤本　由美**（ふじもと　ゆみ）

【仕事の紹介】下水道設備工事のための積算基準類の作成と、監督・検査に係る業務の技術支援をしています。

【ひとこと】春の「ガーデンネックレス横浜」期間中に市庁舎から日本大通り～新港中央広場までの散歩中に色とりどりの花を楽しみました。

わたしの一日紹介

下水道設備工事を円滑に進めるための技術支援を行っていますが、特に設計者からの積算に関する問い合わせが多い部署です。

また、工事に関する各種委員会を運営しています。現在の職場では他の部署と関わることが多いで知り合いも増えました。

時　間	内　容
08:45	出勤
08:45 ～ 09:30	自席で業務・委員会準備
09:30 ～ 11:30	見積審査委員会
11:30 ～ 12:00	問い合わせ対応
12:15 ～ 13:00	お昼休み
13:00 ～ 14:30	打合せ
14:00 ～	自席で業務
16:15	退社

（勤務時間 8:45～16:15）

保育園児の送迎のため部分休業制度を使用しており、1時間早く退庁しています。無邪気な園児達から、おばあちゃん呼ばわりされながらも8年ぶりに子育て時間を味わっています。

子育ての息抜きには美術展巡りをしています。（横浜トリエンナーレも毎回楽しみにしているイベントです。）

まだ先ですが、子育てが一段落したら、以前習った民族楽器に再挑戦するのが夢です。

職場は明るく、子育ても積極的に応援してくれるため休業制度の利用もしやすい環境です。理解ある職場でこれまでサポートされてきたので、恩返しに風通しのよい環境を次の子育て世代の職員にもつなげていきたいです。

私の仕事

下水道施設の機械設備・電気設備に関する積算基準・工事基準・検査基準等、各種基準の作成をしています。基準類を利用する設計者、監督員に対して分かりやすく適切な方法を伝えるのが重要です。が、現場の状況も把握した上でより良い方法を考えるのはなかなか難しく、日頃から設計・監督業務に携わる人達とのコミュニケーションが大切と考えます。

どの業務も円滑に進められるよう、簡潔で、かつミスが少ない仕組み作りを目指しています。

また、工事の検査も実施しています。運転中は不可視部分である機械設備を間近に見ること、新たに導入される機械をいち早く確認することなど、機器や施工の新技術に触れられる経験に恵まれています。

下水道は楽しい！

初めて下水道に携わった汚泥資源化センターでは、焼却炉や消化タンク、ガス発電設備など一連の設備の大きさに感動しました。また晴れた日に消化タンクの上から眺める工業地帯の景色のすがすがしさは格別でした。水処理・汚泥処理施設は多様な機械設備に囲まれて、技術を堪能できる場所です。

さらに、下水道の処理施設では法令関係、土木、機械・電気、生物・化学など、幅広い分野が結びついています。

色々な職種の人と関わり、知れば知るほど面白くなるのが下水道です。どんな職種の人も受け入れる懐の深さが魅力です。

是非この楽しさを経験して下さい。

ある日の!

横浜GJの1日

横浜市　環境創造局　下水道計画調整部
下水道事業マネジメント課

【職種】土木　**小橋　江里**(こばし　えり)

【仕事の紹介】下水道事業の計画策定・調整、
他都市や他部署との調整など

【ひとこと】今年で入庁して9年目になりました。
今年は初めての異動でした。
新市庁舎移転が楽しみです。

わたしの一日紹介

時　間	内　容
07:50	出勤
08:30 ～ 08:45	朝ミーティング
08:45 ～ 09:30	窓口対応
09:30 ～ 10:30	打合せ
10:30 ～ 12:00	自席で業務(新聞の原稿作成等)
12:00 ～ 13:00	お昼休み
13:00 ～ 15:00	自席で業務(計画変更の資料作成等)
15:00 ～ 16:00	打合せ
16:00 ～	自席で業務(議事録、資料作成)
16:45	退社

(勤務時間 8:00～16:45)

私は2歳の息子がいるので、8時～16時45分のフレックスタイムを使っています。朝のお迎えは旦那にお願いしているので、朝ご飯を作り終えたら旦那にバトンタッチ。急いで出勤します。

朝バタバタすることが嫌なので、なるべく早く起きて自分の用意をするようにしていたら、苦手だった早起きができるようになりました。16時45分に退社したら、そこからはダッシュです。家が少し遠いのでいつも保育時間ギリギリに保育園に到着します。保育園に到着して、「ママー!!」と走ってきてくれる息子を見ると疲れが一気に吹き飛びます。

そのあとは息子とお喋りしながら少し公園に寄ったり、電車を見たり。帰宅後はお風呂に入れて、ご飯づくり。平日がドタバタな分、土日は家族で色々な公園に行って一日中遊んでいます。

自分の時間はなかなかありませんが、毎日が充実しています。

異動して１年目

入庁してから9年目になります。下水道の設計に8年(間に育休1年半)、異動して今年から下水道の計画部署に配属となりました。

今の職場は、下水道事業の計画策定だけでなく、市会対応や海外での発表、他都市や他部署との調整、新聞の原稿など幅広い業務があると感じています。大変だと感じることもありますが、それ以上にやりがいのある仕事だと思っています。

下水道に対して

最初から下水道に興味があったかと言われると、正直そんなことはなく、下水の仕事に携わる前の私は、下水道といって思い浮かべるのは、マンホール蓋と側溝くらいしか思い浮かばなかったかと思います。

でも、はじめて新羽末広幹線を見に行った時、小さなマンホールの約60m下に直径約8mもの大きさの下水管が入ってるのを知って、驚きと同時に感動したことを今でも覚えています。

また、新羽末広幹線の効果を知り、インフラ整備の重要性を改めて感じましたし、こんな大規模な工事に私も携わりたいと漠然と思っていました。

設計課では、上司や同期、委託業者の方、監督事務所の方や現場監督の方々と協力し合いながら一つのものを作り上げていく過程で、下水道の奥深さを知れて、興味が湧き、もっと知りたいと思い、徐々に下水道の魅力にはまってきたのかな、と思います。

その点では、出会った人たちに恵まれたと思います。全てがうまくいっていたわけではなく、時には悔しい思いをすることもありましたが、どんな指摘も自分の糧となっていると思っています。下水道に対して真摯に取り組んでいる上司や同期、業者の方のおかげで、下水道への興味がより一層深まってきたのだと思います。

今の部署は下水道の幅広い業務に携われる部署だと思っています。早く即戦力になれるよう、日々精進していきたいと思います。

横浜市　環境創造局
下水道管路部下水道事務所

【職種】土木　**峰尾　真理子**（みねお　まりこ）

【仕事の紹介】公共下水道幹線管きょの工事や水再生センターの工事の監督業務及び、既設下水道管調査委託の監督業務を行っています。

【ひとこと】下水道事業に携わって通算で20年目になりました。今の部署には4年目です。GJ20年生の「ドボジョ（土木職女性職員）」です。（写真：左から2番目）

わたしの一日紹介

時　間	内　容
07:40	出勤
08:30 ～ 08:45	朝礼
08:45 ～ 11:00	書類内容確認
11:00 ～ 12:00	打合せ
12:00 ～ 13:00	お昼休み
13:00 ～ 13:30	移動
13:30 ～ 16:30	現場立会い
16:30 ～ 16:50	移動
16:50 ～ 17:00	夕礼
17:30	退社

（勤務時間 8:30～17:15）

私の仕事

現在の部署1、2年目には、内径1350mm延長約180mの雨水貯留管の推進工事を担当しました。横浜市では余裕のある広い作業スペースを確保出来ることは稀で、この工事でも民家に近接した場所での建設機械の操作や大型資材の搬入作業があり、周辺住民の協力を得ながら工事を進めました。日々の適切な施工管理の下、無事に推進機が到達した時には大変感動しました。

3年目には、既設合流幹線の管更生工事を担当しました。内径2400mmの馬蹄形管きょです。晴天時でも水深約20～30cmの下水が流れる劣悪な環境の中で一生懸命作業されていている姿を見ると本当に頭が下がります。

水再生センターの工事も担当しました。深さ約12mの反応タンク内や深さ約20mのマンホールで足掛金物を降りての作業もあり、転落・墜落、酸素欠乏・硫化水素対策、夏の暑さの中では熱中症の危険もあり、安全管理が非常に重要な要素となります。

▲歩道部分に設置した発進立坑内への管吊下し作業

また、昨年度から既設下水道管（中大口径）調査委託の業務が加わり、今後、急速な老朽化が見込まれる管路施設のうち内径800mm以上の管を対象として詳細調査を実施しました。

このように現職場の魅力は色々な種類の下水道工事を経験できることです。

マンホールの蓋

就職して最初の部署では新設下水道管きょ工事の設計、次の部署では既設下水道管路の修繕工事の設計と下水道管きょの設計に11年間携わりましたが、今の部署で初めて下水道工事の施工現場を経験でき、工事が進んでいく過程を見ることができて楽しいです。1つの工事に何社もの会社が協力し工事を進め竣工を迎えます。無事工事を完成させるという同じ目的に向かって請負業者の方々と協力し工事を進めていくことにやりがいを感じています。「下水は完成後はマンホールの蓋しか見ることが出来なくなる」と不人気な理由としてよく言われますが、それでも何年か後にその場所を訪れれば当時のことを懐かしく思い出すとともに、市民の目に触れることは少ないですが市民生活には欠かせない重要な施設を作っているという思いはあります。また地図には残りませんが下水道台帳には残る仕事です。

育児に奮闘中のＧＪへ

今年22歳になる息子がいます。今ではアフター5に息子とたまに飲みに行くのが楽しみの一つになっていますが、育児中は仕事との両立が本当に大変でした。周りの人に助けていただいたおかげで何とかここまで辿り着くことが出来たと思っています。でも過ぎ去ってみればあっという間です。育児に奮闘中のGJには「今は大変でも必ずゴールが来るので頑張ってくださいね。」と声を掛けたいです。

横浜市環境創造局GJ座談会

GJ座談会参加メンバー

【座　長】長内（おさない）　紀子（のりこ）　環境創造局政策調整部 技術監理課長

【環境職】佐々木（ささき）　史（ふみ）　環境創造局下水道施設部 下水道水質課

【土木職】権正（ごんしょう）　梓（あずさ）　環境創造局下水道管路部 管路整備課

【事務職】高瀬（たかせ）　温紀（あつき）　環境創造局総務部 経理経営課

【機械職】黒田（くろだ）　双葉（ふたば）　環境創造局下水道施設部 南部水再生センター

GJ何年目？

【座長】本日、座長を務めさせていただきます長内です。今年度から環境創造局技術監理課長となりました。環境創造局を去ってから、道路局河川部、保土ケ谷土木事務所を経て8年ぶりに環境創造局に戻ってまいりました。職種は土木職で、以前は下水道建設事務所や管路整備課の係長として在職しておりました。今日は、皆さんから色々なお話を聞かせていただきたいと思います。よろしくお願いします。まずは皆さんの自己紹介をお願いします。

【黒田】南部水再生センターで勤務しています。職種は機械職です。入庁2年目（GJ歴も2年目）になります。仕事内容はセンターの水再生担当で、水再生センターを良好に稼働するための設備点検、また、故障が発生した時の対応を主に行っています。基本は日勤時間帯の業務ですが、20日に一度夜勤があります。

【権正】職種は土木職で下水道管路部の管路整備課におります。下水道管きょ全般の設計・工事発注を行っております。いろいろな事業を担当しており、小さな汚水管から大規模なバイパス菅の整備まで、規模も様々です。

　現在入庁13年目で、これまで下水道事業調整課（下水道事業マネジメント課の前身）に7年、現在の管路整備課に6年在籍し、入庁からずっと下水道に携わってきています。（GJ歴も13年目）途中2年間の育休も取得しています。

【高瀬】経理経営課の高瀬です。下水道使用料の徴収を担当しています。今年度は外部委託業者と協力して接続確認調査を行っております。入庁4年目（GJ歴も4年目）で、中期経営計画の下水道使用料部分の策定や下水道使用料の条例改正にも関わってきました。事務職で下水道はマイナーかなという感じもするので、今日はちょっと緊張しています。

【佐々木】下水道水質課に所属しています。職種は環境職です。北部第一水再生センター担当で普段はセンターに勤務しています。毎日下水や処理水を分析して、適切に処理ができていることを確認しています。また、センター職員と協力して、分析結果に基づいた処理調整や、水質計器の管理も行っております。

　権正さんと同期で、入庁13年目になります。GJ歴は11年目で、これまでは都筑、中部、北一とセンターを担当してきました。

下水道の仕事の印象

【座長】横浜市に入庁して、職種としては下水道を担当することを想定していた方もいらっしゃると思いますが、実際に携わってみてどうですか。

【高瀬】びっくりしました（笑）事務職なので、きっと区役所などで書類を扱ったり窓口対応をしたりするのだろうなと思っていたので。配属されてすぐの頃、「接続確認調査に行ってきて」と言われて。バールを持たされて（笑）「マンホールはこうやって開けるんだよ」って教えてもらいました。最初は何もわからず、普通の格好で行ったら、「なんて格好できたの!?」って。次回の調査からは青服（横浜市環境創造局の作業着のこと）を着ていきました。

【座長】今も現場に行って同じような作業をしているんですか。

【高瀬】私が入庁した頃は下水道料金の関連で、現場にもたくさん出かけていましたが、最近は落ち着いてきています。

【座長】それは、大変でしたね。

【高瀬】はい。業務としての下水道は知らないことも多く、驚きばかりでした。

【座長】黒田さんはどうですか。

【黒田】機械職は、下水道を所管する環境創造局か廃棄物処理等を所管する資源循環局に配属されることがほとんどだと教えてもらっていました。なので、配属先が水再生センターだと分かって、想定内でほっとしました。

【座長】実際に働いてみてどうですか。

【黒田】点検などでは、広いセンター内やポンプ場を隅から隅まで歩き回るので、入庁したばかりのころはとても疲れてしまって、家に帰るとすぐ寝てしまっていました（笑）。階段も多くて“地下何階まであるんだー”って、思いました。今は体力もついてきて、仕事にも慣れてきました。また、においにも（笑）だんだん慣れてきて、職場に近づくと、“今日も（職場に）来たぞ”って思うようになりました。

【座長】以前、南部水再生センターの工事を担当していたことがあるんですけど、こんなこと言うのもなんですが（笑）南部水再生センターって横浜市の水再生センターの中では比較的小さいセンターですよね？（横浜市の中で2番目に小さい）

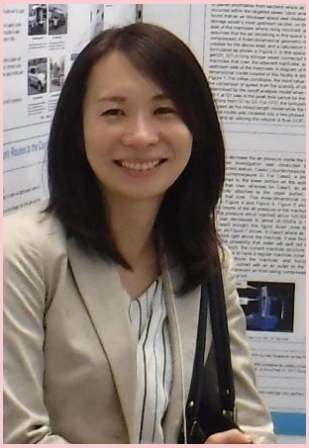
【黒田】そうなんです。先輩にも「ここは小さいからもっと広いところたくさんあるよ」っ

て言われてます。(笑)
【座長】通勤も大変ですよね。
【黒田】そうですね。水再生センターはちょっと不便な場所にあることが多いので…私のいる南部水再生センターは磯子にありますが、歩くと一時間くらい、駅からバスに乗っても20分くらいかかります。
日中はバスが一時間に一本しかないので、出張でバスを使うときなどはかなり気を付けてます。
【座長】ありがとうございました。佐々木さんはどうですか。
【佐々木】私は学生のころから、環境問題に取り組める業務に関わりたいと思っていて、特に水環境や河川には興味があったので、水質改善に取り組むことができる下水道の分野への配属は希望していました。環境職は下水道分野に新人で配属されることが多かったので、期待していたのですが、別の部署でした。2年後、今の課に異動できた時はとても嬉しかったです。実際に働いてみて、採水から分析、EM(電気職・機械職)さんと協力して行う処理調整など、自分の手を動かして行った結果が良好な水処理につながっていく…という業務にやりがいと楽しさを感じています。
【座長】権正さんはどうですか。
【権正】私も、学生や前職時代は、雨水排水に関わっていたので、入庁してからも関連する業務を希望していました。当時は“下水”という名称が、汚水のイメージだったのですが、実際には下水道が雨水排水や浸水対策に寄与しているということを知り、興味深いなと感じました。私を含めて一般市民の方々にあまり知られていない部分だなあと思います。合流式下水道では、雨が降ると汚水の混じった雨水が流れてしまいまうというのも全然知らなくて、最初に聞いたときは衝撃的でした。そういうことも含めて、市民の方に下水道がどういう役割をしているのか、どういう課題があるのかあまり知られていないなと認識しました。
【座長】実際に、計画から設計に異動されて、仕事が変わって、どうですか。
【権正】そうですね…割りきってやらなければいけないところもあるんですけど、実際現場での施工などを考えると無理な計画も作ってきたかなと感じる部分もあります。どちらかに偏るのではなく、どちらの立場も理解できる職員を目指したいと思います。
【座長】権正さんは育休を取得されていますが、お休みされているときはどのように感じましたか。
【権正】不安でした(笑)。一回目の育休は今の黒田さんと同じ、入庁2年目で取りましたので、まだそんなに知識もないころにお休みして、復帰しても何もわからなくて。10年前だと下水道分野で仕事をしている土木職の女性が今ほど多くは無かったので余計に…。戻ってこれるかなって。

【機械職】
黒田　双葉

【事務職】
高瀬　温紀

【環境職】
佐々木　史


【土木職】
権正　梓

【座長】どうやって不安を解消できたのですか。
【権正】実際に復帰してみると、同じ職場の先輩や仲間に助けていただきました。知識がつくようにサポートもたくさんしていただきました。仕事をして、周りのサポートがあって、不安も解消していくことがきたのだと思います。なので、2回目の育休時はそこまで不安にはなりませんでした。

横浜の下水道について誇れること

【座長】横浜の下水道には歴史があり、また、工事では最先端の技術も導入されています。その部分は下水道の世界に入って働いてみないと分からないことだと思います。ぜひ、今、働いている皆さんの言葉で、魅力を紹介してください。
【黒田】水再生センターで働いてみて、流入下水量ってこんなに多いんだ!と感じました。横浜は人口も多く、下水の発生量も多いです。毎日たくさんの下水が水再生センターに流入してきて、それを滞りなく良好に処理して河川や海に返している。当たり前のことなんですけど、すごいな、と感じました。
【座長】水再生センターで勤務していると、一般の人が見ることのない大きな機械がたくさんありますが、目の当たりにしてどうですか。
【黒田】たくさんの設備があって、本当に驚きました。この間、自家発電設備が故障してしまって。降雨があった際に、自家発電設備の温調弁という小さな部品が壊れてしまい、運転できず、ポンプの稼働ができなくなってしまいました。この時は売電で対応できたのですが、小さな部品の故障でも重大な故障につながってしまうんだなと。日々の点検業務が本当に大事なのだと感じました。
【座長】緊急時の対応策も用意されているのですね。
【黒田】はい。この時は(売電に切り替え)、浸水することなく市民の皆様の財産を守ることができました。
【座長】高瀬さんはどうですか。
【高瀬】私は、局のパワートレインチームという下水道の国際活動を行う有志チームに入っており、外国の方が技術研修で北部下水道センターに見学にいらした際に同行したことがあります。これから下水処理の技術を取り入れて自国で発展させていこうという方たちなので、本当に真剣に、興味深く隅々まで見ていかれます。入庁二年目でこのチームに参加した時は、こういうものかな、と何となく思っていましたが、私自身も下水道を深く学んでくると、なんだかすご

いことに関わっているぞ、と。横浜の下水道の歴史や現在の技術の高さは本当に素晴らしいんだなと感じています。

【座長】下水道や水道は国内ではもうかなり普及して、今は更新の時代に入っています。でもそれだけではなくて、海外への技術協力についてはかなり力を入れています。横浜は国際交流都市というイメージも強く、実際、新採用職員の方々も、下水道や水道の国際貢献に興味がある方がとても多くなっています。技術交流という形で協力・支援できることも、横浜の下水道の大きな魅力です。

【権正】整備課の視点からですと、やはり雨水の大規模貯留幹線をかなり早くから計画し導入していたことは、他都市ではあまり見られない部分だと思います。横浜には河川も多く、浸水対策として河川との水量の差分を補うための貯留幹線は絶対に必要なものです。横浜市にある新羽末広幹線は、延長20km、貯留量約41万m^3もあるとても大きな雨水幹線で平成の初めのころに計画されていました。そういう、先見の明というか、大規模事業に対する判断やチャレンジ精神といったものを持って取り組んでいた先輩たちはすごいなと感じています。

【座長】推進工法にしてもシールド工法にしても横浜では、日本初という大きさのものを施工していますからね。

【権正】各河川の流域で、そういうものを整備していたというのは…すごく、よく考えられて整備されていったんだなぁ、って。技術の結集というか。本当に高い技術力をもっていらっしゃったんだなと。そういうものをきちんと引き継いでいかないといけないと思います。

ちなみに第二の鶴見川とよばれている新羽末広幹線は、管径（内径）が8.5mあり、くじらも泳げる（笑）といわれています。

【佐々木】今は全国的に水再生センターの委託化が進んでいるのですが、横浜は11か所の水再生センターを市の職員が直営で管理しています。（※汚泥資源化センターは包括委託）それぞれのセンターに配属されている水質担当の環境職もそうですし、センターの電気職機械職の方たちも、処理能力向上や省エネなど、職員が協力し合い、日々の水質データや設備状況を詳細にやりとりし、工夫しながら精力的に取り組んでいます。現場で実際に手と足と頭を使って働いているからこそ、こういった協力体制が生まれていると思います。また、職員同士だからこそお互いの職種のこだわりなども伝えやすかったりするのかなと。

また、現場という職場の気質もあって、良い意味で（笑）、昔ながらの職人さんがたくさんいらっしゃいます。自分たちでなんでも直せてしまうし、昔のことから今のことまで知識も本当にたくさん持っていて、勉強になることばかりです。

さらに本庁では、最先端の技術やプロモーションに取り組んでいる方たちがいる。そういった人材の層の厚さは横浜の下水道の魅力だと思います。

今後のキャリアについて

【座長】現在、下水道分野の業務に従事されていますが、将来のご自身のキャリアについてのご意見をお聞かせください。

【高瀬】私は事務職なので、今後ずっと下水道の分野に…ということは難しいのかなと思っていますが、下水道分野で仕事をして、パワートレインチームで自分で勉強したことを海外の皆様に発信して、知らなかったことを知っていただいて…というのがとても面白いと感じました。下水道の分野は一般的に表に見えづらく、市民の方々にとっても知らないことが多いと思いますので、今後も発信していきたいですし、関わっていけたらいいなと思います。

【座長】キャリアについてはどうお考えですか。

【高瀬】いろんな役職の方にお会いして、とてもやりがいがあり楽しそうだなと思っています。管理職になると、まず入ってくる情報量が桁違いに多くなり、色々なことを知ることができて面白そうだなと。今は職員I（横浜市では、職員の職位をI、II、IIIで分けており、入庁時からの年数は基礎を身につける職員として分類されています。）なので、職員としての年数を重ねていく中で、自分への適正も考えつつ、決めていきたいと思います。

【黒田】入庁2年目ということもあり、今は日々の業務をしっかりとこなすことを第一に考えています。具体的なキャリアについてはまだ考えていませんが、今は職場で先輩方にとても助けられているので、まずは、職場の戦力になることを第一に日々の業務に取り組んでいきたいです。

女性の機械職が少ないのが現状なので、将来的には、これから入庁してくる女性技術職員の方の参考になるようなキャリアを歩めたらと思っています。

【座長】下水道分野の現場で働いている機械・電気職の女性は現在4名、黒田さんはその一人ですね。今後も増えてくると思われますので、ぜひ、お手本になってあげてください。

その点、環境職は女性職員の割合が多いですよね。

【佐々木】そうですね。下水道分野の女性職員も多く、先輩方にも女性職員はたくさんいらっしゃいます。なので、少数派、という感じはしません。

【座長】どうですか。今後のキャリア形成については。

【佐々木】中堅どころの職員として、どういったキャリアを積んでいくのが自分にとって良いのか迷いどころではあります。今の仕事は、希望していた下水道分野で、充実した仕事ができているのでもう少し続けたいという気持ちもあります。今後のキャリア形成の中では、今まで選択してこなかったことや、流れに乗る、ということも視野に入れていきたいと思います。

【座長】下水道という分野に関わらず、管理職になるとやれることが増えます。逆に、管理職になったからやってはいけない、なんてことはないと思っています。仕事は断ることもできるけれど、乗っかってみることもできます。ぜひ、キャリアアップに挑戦してくださいね。

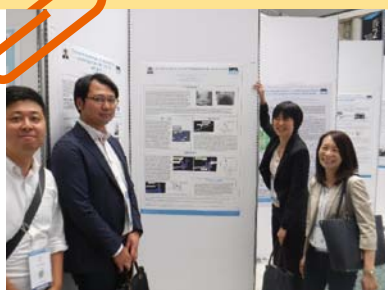
【権正】下水道の分野は奥が深く、今、とても面白いなと思って携わっています。ただ、13年間下水道の分野だけを見て仕事をしてきたので、別の視点も欲しいと考えています。ほかの事業の進め方や管理の仕方を学び、視野を広くして、下水道の分野にまた戻ってきたいなと考えています。

【座長】お子さんがいると、管理職になるのも大変かと思うかもしれませんが、やってみると案外できるものです。私も係長時代に、週末のたびに警報が鳴って出勤することがあり、子供を連れて行ったこともありました。何とか乗り切れるものなので、やるまえから無理かなと決めつけずに、なんでもチャレンジしてみることをおススメします。

皆さん本日はありがとうございました。

私の下水道
My Gesuido

今回の下水道展’19開催地の横浜市。
今も各部署で横浜市GJが、みなさんの快適な生活のため、日々働いています。
そんな働く横浜市GJのお仕事の様子をちらっと覗ける「私の下水道」。
日々のお仕事の様子から、横浜市ならではのイベント紹介など…
是非楽しんでご覧ください!



横浜市　環境創造局
下水道管路部管路整備課
【職種】土木

松永（まつなが）　亜紀（あき）

【仕事の紹介】
主に浸水対策や老朽化対策を目的とした下水道工事の設計・積算・発注業務を行っています。

【ひとこと】
右は横浜市水環境キャラクター「かばのだいちゃん」。かわいい!いろいろなイベントに出没していますので探してみてください。(写真:右から2番目)

GJ6年目突入！それでも勉強の日々

平成26年に今の部署に配属され、GJ6年目を迎えました。平成29年度末で下水道普及率が99.9%に達した本市ですが、浸水対策や既存施設の老朽化対策、耐震化、合流式下水道の改善など課題はたくさんがあります。

私の主な仕事は、浸水対策を目的とした増強管や貯留施設をつくるための工事や、老朽化対策を目的とした既存施設の改築工事の設計・積算(工事金額を算出すること)・発注をすることです。ヨコハマ特有の狭い道路や急勾配の坂、蜘蛛の巣のように張り巡らされた地下埋設物たちと格闘しながら日々設計を行っています。まだまだ知識不足・経験不足なうえに、基準の改定や技術の革新など勉強することは尽きません。下水道って奥が深い!

Check!

大岡川プロムナード

ヨコハマといえば、みなとみらいや中華街といった観光地をイメージされる方が多いと思いますが、古くからある商店街や緑など様々なまちなみがあるところも横浜の魅力です。

二級河川大岡川の周辺は下町のような雰囲気とプロムナードの桜で特におすすめ!春の「南区桜まつり」では桜がライトアップされてきれいなので、立ち寄ってみてください!

横浜市　環境創造局
下水道施設部　南部水再生センター
【職種】事務

小泉（こいずみ）　芽衣（めい）

【仕事の紹介】
水再生センター内の予算執行管理、経理、庶務事務など

【ひとこと】
大学では法律を学んでいたTHE文系のGJです。
事務職や女性職員の少なさに初めはとまどいましたが、異色な環境を楽しみながら働いています。

GJになって気づいたこと

私の所属する南部水再生センターは、横浜市南区の大部分、磯子区の約半分などの区域を処理区域とする水再生センターで、磯子区の埋立地の最先端部に位置しており、昭和40年7月に運転を開始した横浜市で2番目に古い水再生センターです。

昨年度新採用でこのセンターに配属され、工事・委託の支払、庶務、職員の労務などを担当しています。1年前までは、下水道は当たり前にあるものという認識で、気に掛けることもありませんでしたが、実際に現場で働いてみると、私たちの快適な生活は技術職の方々の日々の点検作業や、24時間365日絶えない運転監視業務の上で成り立っているのだと実感しました。夜中や休日に雨が降ると、センターで働いている人のことを気に掛けるようになりました(笑)これからも、事務としてセンターで働くみなさんを支えることによって、下水道事業に貢献していけたらと思います。

Check!

横浜の隠れインスタ映えスポット?

南部水再生センターのある磯子区では工場地帯の夜景や市民ヨットハーバー、根岸森林公園などの横浜の魅力的な景色を見ることができます。写真が趣味の方は、みなとみらいだけでなく磯子にも足を運んでみてください(#^^#)

私の下水道
My Gesuido

横浜市　環境創造局
下水道施設部下水道施設管理課
【職種】電気

斉藤（さいとう）　奈津実（なつみ）

【仕事の紹介】
横浜市にある全11か所の水再生センター・下水道センターの維持管理等にかかる企画調整・調査をしています。

【ひとこと】
写真は水の天使との3ショット@下水道駅伝です。走るのは苦手ですが、水の天使と写真を撮ってもらえたので参加してよかった!実物は100倍美しかったです…!

普通科高校卒業から電気職GJへ

浄水場に勤めていた父から勧められて、普通科高校から電気職として横浜市役所へ入庁したのが平成25年。最初の配属は水再生センターでした。初めて嗅いだ下水処理施設のにおいに卒倒しそうになったのを今でも覚えています(笑) 電気職としてもGJとしても素人で右も左もわかりませんでしたが、親切な先輩方に教えてもらいながら今も日々勉強中です。現在は水再生センター・下水道センターの管理部署に異動し3年目になりました。現場で働いていたころの経験を生かし、電力削減や創エネの取り組みなども行っています。これからもセンター職員と協力し、よりよい下水道の維持管理を目指して頑張ります!

Check!

「ピカチュウ大量発生チュウ!2019」今年も横浜で開催決定

(株)ポケモンと横浜市は、街を舞台にしたイベント「ピカチュウ大量発生チュウ!」を5年連続で開催してきました。6年目の開催となる今年は、みなとみらいの美しい夜景とテクノロジーを活かしたピカチュウたちのパフォーマンスで、夜の横浜を盛り上げます。開催期間は8月6日(火)～12日(月)と、下水道展' 19横浜とも同時期ですので、みなさんぜひ横浜に遊びに来てください!

ピカチュウ大量発生チュウ! 2019

©2019 Pokémon. ©1995-2019 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.　ポケットモンスター・ポケモンは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

横浜市　環境創造局
下水道施設部港北水再生センター
【職種】機械

岡村（おかむら）　なつみ

【仕事の紹介】
水再生センター及びポンプ場維持管理業務　主に機器の点検や修理を行っています。

【ひとこと】
最近、技術職の女子が増えてきているので、とても嬉しいです。

毎日とても充実しています。

約20年前、横浜市に機械職として採用され、北部下水道センターで消化タンクとガス発電設備の維持管理を行っていました。当時は、横浜市で機械職の女性職員が私含め2人しかいませんでした。当然配属された職場には、男性職員ばかりでしたが、先輩職員が、とても優しく下水道のことを教えてくれました。

現在は、港北水再生センターで機器の点検や修理を行っています。当センターは、1972年稼動で、老朽化も激しく日々の修理に追われています。修理をする際は故障か所を元通りに復旧するだけではなく、故障の原因を検討して対策をします。復旧後に機器が良好に運転できたときは、とても嬉しく、やりがいを感じます。 男性職員の中で仕事をすることは、助けてもらうこともとても多いですが、常に色んなことにチャレンジしていくことを忘れずこれからもがんばっていきたいと思っています。

Check!

私の元気の素!!

高校1年と小学3年のかわいい息子達が私の癒しです。年が少し離れていることもあるからか、とても仲良く、喧嘩をしているのをみたことがありません。最近は、長男の帰宅が遅いため、たまに2人揃うとぴったりくっついて話をしている姿がとてもかわいく、幸せな気持ちになります。また、お休みの日は長男が小さい頃からやっているサッカーの試合観戦をすることが楽しみです。横浜で一番好きな会場は、しんよこフットボールパークです。子供の真剣な顔を間近で感じたり、遠めからコート全体を観戦することができたりするほか、近くに広場や遊具もあり、次男をつれて遊びを兼ねて一日楽しむことができる場所です。また、今年の9月には、ラグビーワールドカップの決勝戦も行われます。ぜひ、お弁当を持って訪れてみてください。

横浜市　環境創造局
環境保全部水・土壌環境課
【職種】環境

佐藤（さとう）　有理子（ゆりこ）

【仕事の紹介】
公共下水道に排水している工場・事業場に対して、排水の水質規制・指導を行っています。
【ひとこと】
今年でGJ3年目になりました。水・土壌環境課は、職員の約3割が女性で、和気あいあいとした雰囲気の職場です。

工場排水規制の仕事について

下水道への排水には、水質基準が設けられています。この基準が遵守されているかどうかを確認するため、工場・事業場排水の水質規制・指導を行っています。夏の暑い時期の立入検査は汗だくにはなりますが、採水器具を持って動き回るので適度な運動になっています。また、様々な事業者の方との打ち合わせを通して、事業者が持っている技術などについてのいろいろな話を聞くことができ、新しい発見のある魅力的な仕事です。水質基準を超過した水が流れると、水再生センターでの処理に影響が出たり、川や海が汚れてしまう可能性があります。生活環境を守るため、頑張っていきたいです。

Check!

横浜はパンケーキ激戦区!

数か月に一度、仕事が終わった後に仲間とパンケーキを食べに行っています。横浜では毎年いくつものパンケーキ屋さんが新規開店している激戦区です!みなとみらいや元町にはおいしいパンケーキのお店がたくさんありますので、横浜を訪れた際はぜひパンケーキを食べてみてください!

横浜市　環境創造局
下水道施設部下水道施設整備課
【職種】土木

須藤（すとう）　美月（みづき）

【仕事の紹介】
水再生センターの工事設計、発注業務をしています。デスクワークだけでなく、現場も行きますよ!
【ひとこと】
下水道施設整備課にはGJが5人。下水道の分野もだんだんと女性が増えてきてうれしいです!(写真:右)

水再生センター設計部署のしごと

平成30年に下水道施設整備課に配属され、下水道通算3年目のGJです!水再生センターの工事設計・発注を行う部署で、各処理場の水処理や汚泥処理、構造計算など勉強の日々を送っています。

横浜市内には水再生センターが11箇所あり、最も古い施設では昭和37年に運転を開始して既に50年以上経過しています。そのため、継続的な下水道機能の維持を目指して、今後の汚水量減少や各センターの課題を整理、事業の優先度などを踏まえた長期構想を職員自ら検討しています。数十年先を見据えた仕事は大変ですが、それだけにやりがいがあります!

Check!

まさかのスタンプラリーイベントを発注・・・!?

土木職GJの仕事は設計、監督、維持管理・・・と思いきや、スタンプラリーイベントを担当することになりました!下水道展' 19横浜併催行事「よこはまベイサイド巡り」は、横浜のベイサイドエリアに設置されたスタンプ拠点を巡り横浜の魅力を発見してもらうスタンプラリーイベントです。残念ながら事前申し込み制なので、これを読んでいる時点では募集も終了しているため参加できませんが、みなとみらいをはじめとするベイサイドエリアには面白いスポットが沢山あるので、皆様ぜひ横浜を楽しんでください!お待ちしております!

私の下水道
My Gesuido

横浜市　環境創造局
総務部経理経営課
【職種】事務

真中（まなか）　美理（みりー）

【仕事の紹介】
下水道事業の予算・決算、経理などに関する業務を行っています。

【ひとこと】
私（写真左）と同課の高瀬温紀さんです。私たちは、GJ4年生になります。

横浜市の下水道

私は、主に下水道事業に係る経費の予算・決算などの業務を担当しています。横浜市の下水道普及率は99.9%と高く、あって当たり前となっていますが、下水道の整備や維持管理があるからこそ快適な生活や環境が守られているということをGJになり実感することができました。横浜市では浸水対策として大雨の時に浸水の恐れがある地区を想定した内水ハザードマップや、地域防災拠点で安心してトイレが使用できるよう、災害用ハマッコトイレの整備にも取り組んでいます。

まだまだGJ修行中ですが、「市民からの大切な下水道使用料や市税が財源」となっていることを忘れずに、下水道事業の安定した経営に貢献できるよう、これからも奮闘してまいります!

Check!

横浜市のマンホール蓋

横浜開港後、外国人居留地（現在の関内周辺地区）に整備されたのが横浜市の下水道の始まりです。横浜のシンボルであるベイブリッジ模様のマンホール蓋は「のびゆく港・未来」を表しています。カラー蓋は元町公園の周辺にだけありますので、探してみてください。みなとみらいはドラマのロケ地になることも多く、景色がとても綺麗なので、横浜を訪れた際はぜひお越しください♪

横浜市　環境創造局
下水道施設部　下水道水質課
【職種】環境

平等（ひらとう）　愛子（あいこ）

【仕事の紹介】
港北水再生センターで水質管理を担当しています。下水をきれいに処理してから鶴見川に放流し、河川の水環境を守っています。

【ひとこと】
港北水再生センターは横浜市にある11センターの中でも検体数の多いセンターです。毎日、三輪車でセンター内の検体を採水するのが一仕事です。電動自転車にあこがれるこの頃です。

あっという間に20年！令和も水質管理一筋！？

入庁して最初に配属された職場が下水道局水質管理課（現所属）でした。

入庁してから現在まで、水再生センターの水質管理一筋です。最初は活性汚泥中の微生物の名前が全く分からず、必死に勉強しました。お気に入りの微生物は「クマムシ」です。微生物の中では比較的大きく、のそのそと動いている姿を観察していると不思議と元気な気持ちになります。

水再生センターで20年間働いてきましたが、さらに良い水質管理を目指して勉強の毎日です。水質管理はセンター内の設備について十分に理解しておく必要があります。設備担当の機械職や電気職の方と連携して仕事をすることがとても重要です。令和も水質管理一筋!?で頑張っていきます。

Check!

これからはゆっくり落ち着いて。。。

入庁してすぐに子育てが始まり、目の前にあることをバタバタとこなす毎日でした。ようやく子育ては落ち着いてきましたが、センター内を「はぁはぁ」言いながら採水しているのは変わりません。体力だけでなく記憶力も衰えてきているので落ち着いて仕事をするようにしたいです。

休日には山手西洋館の周辺を散歩するのが楽しみの一つです。ただ、坂道が多いので「はぁはぁ」言いながら散策しています(笑)。

横浜市　環境創造局
下水道管路部管路保全課
【職種】土木

横手（よこて）　加奈（かな）

【仕事の紹介】
災害用ハマッコトイレの工事設計・発注業務、宅地内排水設備の指導等をしています。

【ひとこと】
GJ5年目ですが、横浜市民としても5年目です。「港・横浜」だけでなく、海あり、山あり、畑ありの横浜を日々発見しています。

「災害用ハマッコトイレ（マンホールトイレ）」専用管の設計

私は現在、市立小学校などの大規模な震災に備えた指定避難場所へ、「災害用ハマッコトイレ」というマンホールトイレを整備する事業に携わっています。業務は主に、専用汚水管の設計です。専用管の敷設位置で、発災時のトイレの組立位置が決まるので、設計の際は学校の先生方だけでなく、地域の防災委員の方ともお話ししながら決めて行きます。学校の敷地は案外せまく、水道管等をよけながら、汚水が自然流下できるように、使い勝手の良い場所に…と設計をするのは、難しいことも多く、皆で知恵を出し合う日々です。見過ごされがちな被災時のトイレ問題について、備えがより確かとなるよう、年間50箇所、250基というハイペースで取り組んでいます。

Check!

災害用ハマッコトイレの仕組み

仕切り弁がある専用管を用います。まず便器の真下の太めの管に、プールの水を張っておき、使用の際は汚物をふやかしながら貯留します。約500人使用するごとに仕切りを引き上げ、耐震化された公共下水道管へ、一気に流します。正式名称は「災害時下水直結式仮設トイレ」ですが、長いので、「災害用ハマッコトイレ」と愛称をつけました。

横浜市　環境創造局
下水道計画調整部　下水道事業マネジメント課
【職種】環境

森田（もりた）　純子（すみこ）

【仕事の紹介】
下水道の技術開発支援や広報を行っています。
とても幅広い仕事です。

【ひとこと】
2人の子育てと仕事でバタバタですが、楽しみながら日々過ごしています。家事はそこそこに、とにかく楽しい我が家!が森田家の合言葉です。

下水道展'19で魅力ある横浜下水をPR！

私は下水道の技術開発と広報の業務を担当しています。環境職として入庁し、主に水質分析を行う部署にいましたが、昨年から下水道事業マネジメント課に配属され、初めて分析から離れて新しい仕事をしています。

環境職の視点で下水道の技術開発に携われることや、広報担当として学生さんと接し、キャリア教育について考える機会をいただけることなど、今まで経験できなかった業務にも関わることができ、毎日新鮮な気持ちで取り組んでいます。今年は11年ぶりの横浜開催の下水道展でブース出展の担当として、忙しいながらも楽しく仕事をしています!魅力ある横浜下水をどんな形で発信していくか、みんなで議論しながらブースを作り上げています。

Check!

一番の魅力は横浜で働く“人”です。

私は今年でGJ7年目ですが、仕事内容はもちろんのこと、そこで働く人にも魅力を感じています。おのおのが独自の価値観を持ち、意見をぶつけ合いながらも事業を着実に進めていく推進力のあるメンバーが集まっています!

このメンバーで下水道展を盛り上げています!

GJ Journal Vol.21
下水道展特集
令和元年7月発行

発　行　:(公社)日本下水道協会
　　下水道広報プラットホーム
編　集　:下水道展特集編集委員会
　　下水道広報プラットホーム事務局
デザイン:(株)紙藤原

下水道は生活を支えるインフラであり、多様な利用者の視点に立った事業運営のためにも下水道業界での女性のますますの活躍が欠かせません。しかし女性職員の少ない職場も多く、気軽に話せる同性がいない、ロールモデルとなる先輩女性がいない等の悩みをもつことも多いようです。

　そこで下水道広報プラットホーム(GKP)内に女性同士の繋がりを支援する場として「下水道分野で働く女性の会(愛称:GJリンク)」が設置され、国土交通省下水道部職員も本会の設置趣旨を踏まえアドバイザーとして参画しています。単に繋がるだけでなく、様々な企画を通して情報発信や企画・運営などのスキルアップを図る取り組みも始まっています。

GJリンク事務局
日本下水道協会内
GKP事務局(広報課)内
TEL:03-6206-0205
URL:http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-Link.html

GJ Link
GJML会員は、随時募集中！
詳しくは、GJリンクHPまで
http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-Link.html
GJリンク
検索